



あの記事は今 No.3

町を変えている神流マウンテンラン&ウォーク

神流町 産業建設課

平成21年から藤岡県税事務所とトレイルランニングの第一人者鍋木毅氏(元群馬県庁職員)の協力により始まった神流マウンテンラン&ウォーク、早いもので今年で9回目の開催となります。

第1回大会は340人ほどの参加でしたが、「心温まるアットホームな大会」として口コミで評判が広がったことから年々参加者が増え、第4回大会以降は700人以上が参加しています。全国各地、そして海外からも参加者が集まり、リピーターも多いのが本大会の特徴です。また、エントリー開始から数日でエントリーを早期終了するほどの人気をいただいております。

平成28年度からは、ふるさと納税の返礼品としてエントリー優先権(エントリー料等は別途必要)を用意したところ、「昨年すごく楽しく走らせていただいたので、今年はふるさと納税での出場をしたい」という方など、約30名の方から申し込みがありました。そして、今年は昨年を上回る47名の方から申し込みいただきました。なお、ふるさと納税の使用用途は、本大会や観光事業等に充当させていただいております。

参加者の半数以上が前日から来町しますが、宿泊施設が足りません。そこで、ボランティアという形で民泊制度を取り入れ、町民宅へ宿泊していただいております。この民泊制度を通し、町民と参加者との交流が生まれ、大会以外でも近況や季節ごとの農作物等を送り合っている町民もいます。「ボランティア民泊」は両者がともに求めていた接点を見出し、参加者の心のふるさとになっていると思います。

この大会を契機に使われなくなった古道を整備し、各山々をつなげた道が整備できたことから、トレイルランニングだけでなく、観光面でも活用されるようになりました。登山やハイキングコースとして認識され、多くの方が神流町を訪れています。また、神流町観光案内所主催のツアーでも利用され毎回好評をいただいております。

本大会の一番の目的は「町の活性化」です。町が元気になることが活性化なのか、財政が潤うことが活性化なのか、人口が増えることが活性化なのか。最終的には、これらを全てクリアすることだと思います。飾らないおもてなしを念頭に置き、町民と参加者がお互いに元気をもらい合う効果をもたらす、そんな大会を作り続けて行きたいと思っております。



ふかふかのトレイルを疾走する選手



ボランティア民泊



町民の応援



神流町観光案内所主催のツアー案内

